

第 33 期 中間報告書

(第 2 四半期連結累計期間)

INTERIM REPORT

平成 22 年 4 月 1 日から

平成 22 年 9 月 30 日まで

経営理念

夢を持って、美を求め、形にする。

Dream. Beauty. Form.

私たち日本精密は「夢・美・形」の追求によって、はじめて輝く明日がやって来ると信じています。

「実現できると信じる心」が、企業の継続と社員の幸せ、そして社会への貢献を実現する原動力となります。

ごあいさつ

日本の“ものづくり技術”を世界へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格段のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、「日本の“ものづくり技術”を世界へ」をモットーに、1978年の創業以来、腕時計バンドの製造をメインにメガネフレーム等、精密部品加工業として業務を拡大してまいりました。

1991年以降、荒波のように変化する世界の経済状況に応じて常に業務革新を行い、主力製品である時計バンドの低価格化、マスプロダクト製品などの海外生産化を実現し、世界市場で勝てるコスト競争力で対応しております。

当社の『人材力』は、6つのチカラ「提案力・開発力・コスト力・技術力・品質力・管理力」をベースに国内一流企業や海外メーカーの高いニーズに応えております。

私たちメーカーの責任としてデザイン、ファッション、トレンドを常にキャッチアップし、絶えず斬新な発想で「高付加価値製品」を開発・提案・提供することで社会に貢献していける企業であるように社員一丸で臨みます。

さて、当社の第33期中間報告書（第2四半期連結累計期間、平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）をお届けするにあたり、ご挨拶をかね、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長

岡林 博

平成22年12月

グラフで見る日本精密

連結業績の概要

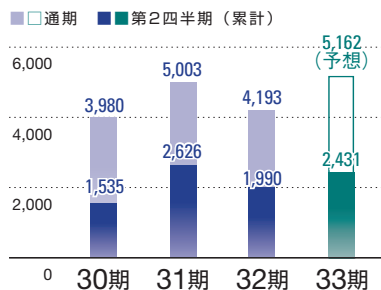
当第2四半期連結累計期間(以下、当第2四半期という)における我が国経済は、中国や新興国向けの輸出の増加から一部では景気回復の兆しが見られたものの、依然として厳しい雇用情勢、円高の進行、デフレ経済の進行、世界経済の減速懸念により、先行きの不透明感が続いております。

このような状況下、当社グループは経営目標達成に向け売上の増加と利益の増大に注力してまいりました。その結果、当第

2四半期の業績は、連結売上高は2,431,632千円(前年同四半期は1,990,669千円)、売上総利益は601,245千円(前年同四半期は488,541千円)、営業損失は5,530千円(前年同四半期は営業損失83,222千円)、経常損失は36,153千円(前年同四半期は経常損失102,083千円)、四半期純損失は38,554千円(前年同四半期は四半期純損失97,957千円)となりました。

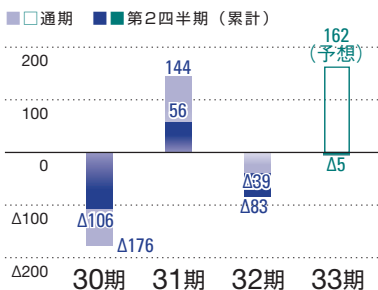
売上高

(単位: 百万円)



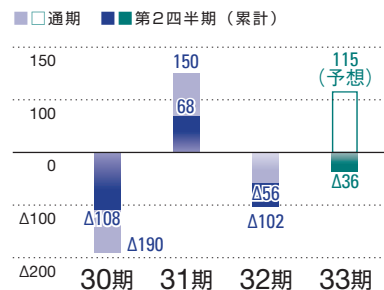
営業利益

(単位: 百万円)



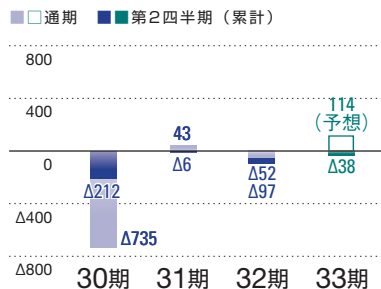
経常利益

(単位: 百万円)



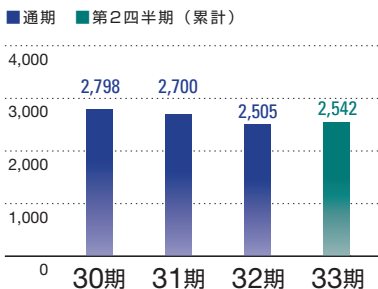
当期純利益

(単位: 百万円)



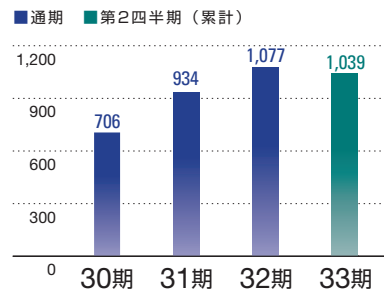
総資産

(単位: 百万円)



純資産

(単位: 百万円)



事業別営業の概況

連結部門別事業の概況

時計バンド事業



売上高構成比
59.9%

売上高
14億56百万円
(前年同四半期：11億48百万円)

営業の概況

時計バンド事業の売上高は1,456,844千円となり、前年同四半期比308,423千円増加しました。このうち、スイスの高級時計メーカーへの売上は、高級品の消費低迷とそれにとまなう新製品立上げの延期により63,899千円の減少となりました。一方、国内大手メーカーからは、同社の事業拡大にとまなう増産と、当社グループの総合力を評価されたことによる香港支店とNISSEY VIETNAM CO.,LTD.における受注増加があり、399,311千円の増加となりました。これによりセグメント利益は、27,406千円となりました。前年同四半期の赤字から黒字に転換しました。

メガネフレーム事業



売上高構成比
33.2%

売上高
8億6百万円
(前年同四半期：6億54百万円)

営業の概況

メガネフレーム事業の売上高は806,581千円となり、前年同四半期比151,794千円増加しました。このうち、(株)村井は、国内大手チェーン店向のブランドOEM販売の推進により79,426千円の増加となりました。また、当社のメガネフレーム部門は、ヨーロッパの海外高級ブランド品の受注増加、国内大手チェーン店向の提案型営業の強化により72,367千円の増加となりました。これによりセグメント損失は、55,775千円となりました。赤字幅は、前年同四半期と比較してほぼ半減しました。

その他事業



売上高構成比
6.9%

売上高
1億68百万円
(前年同四半期：1億87百万円)

営業の概況

その他事業の売上高は168,206千円となり、前年同四半期比19,254千円減少しました。これは主に、NISSEY VIETNAM CO.,LTD.における釣具用部品の売上減少によるものです。これによりセグメント損失は、4,629千円となりました。

日本精密の生産体制

日本精密グループのもつ
すべての力をベトナムに結集

1994年当時、ベトナムに工場を設置したことは先見性のある大きな経営シフトでした。

人材をはじめ世界工場を見捉えた立地、日本精密のチカラのもとである「提案・開発・コスト・短納期・技術・品質・管理・製造ライン」のすべてが構築できる土地であったことを業績で実証しました。

現在までに集積されたこれらの力は、ベトナム工場においてますます磨きがかかっています。

VIETNAM

HO CHI MINH



NISSEI VIETNAM CO.,LTD.

1990年代、国内他企業の多くが中国進出を模索するなか、私たちはいち早くベトナムの将来性に着目。2000年までに第2工場を稼働させ、『時計バンド』『メガネフレーム』を中心に製造を行っています。



高い志と楽しさ溢れる人々のチカラ

現在、第一・第二工場を構え、金型・プレス・溶接・研磨・表面処理など一貫生産体制を約2,300人のベトナム人が支えています。また、金属製品へのイオンプレーティング技術、多様な装飾オーダーに重要なアクセントを持たせるレーザー加工技術など、熟練した現地技術者が「高付加価値製品」を生み出しています。

ISO9001 取得

"NISSEY VIETNAM CO., LTD."は2000年3月、BVQI（英国）により、国際品質保証規格「ISO9001」を取得。英国、米国、ドイツ、フランス、スイス、日本で認証されています。日本精密では契約、デザイン開発、パイロット生産、購買から大量生産、納品に至るまで製造のあらゆる段階で「ISO9001」の品質管理システムを効率的かつ全面的に実施しています。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期末 平成22年9月30日現在	前第2四半期末 平成21年9月30日現在	前期末 平成22年3月31日現在
資産の部			
流動資産	1,696,884	1,626,943	1,656,970
固定資産	845,960	842,325	849,010
有形固定資産	586,658	598,747	590,243
無形固定資産	178,098	180,770	182,376
投資その他の資産	81,203	62,807	76,390
資産合計	2,542,844	2,469,268	2,505,980
負債の部			
流動負債	1,306,929	1,388,267	1,213,141
固定負債	196,050	201,081	215,724
負債合計	1,502,980	1,589,348	1,428,866
純資産の部			
株主資本	1,025,501	869,025	1,064,106
資本金	1,565,875	1,490,875	1,565,875
資本剰余金	1,548,980	1,473,980	1,548,980
利益剰余金	△2,049,092	△2,055,617	△2,010,537
自己株式	△40,262	△40,212	△40,212
評価・換算差額等	△636	△4,105	△1,991
その他有価証券評価差額金	△634	△4,105	△2,123
為替換算調整勘定	△2	—	131
新株予約権	15,000	15,000	15,000
純資産合計	1,039,864	879,919	1,077,114
負債純資産合計	2,542,844	2,469,268	2,505,980

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	当第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	2,431,632	1,990,669	4,193,175
売上原価	1,830,386	1,502,128	3,093,695
売上総利益	601,245	488,541	1,099,480
販売費及び一般管理費	606,775	571,763	1,138,585
営業損失(△)	△5,530	△83,222	△39,104
営業外収益	9,433	11,913	16,976
営業外費用	40,056	30,774	34,060
経常損失(△)	△36,153	△102,083	△56,189
特別利益	82	25,908	29,980
特別損失	0	18,242	20,355
税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	△36,070	△94,417	△46,564
法人税、住民税及び事業税	2,484	3,540	6,312
少数株主損益調整前四半期(当期)純損失(△)	△38,554	—	—
四半期(当期)純損失(△)	△38,554	△97,957	△52,876

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,069	71,370	206,847
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,710	△18,585	△84,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,083	△61,906	△54,196
現金及び現金同等物に係る換算差額	△988	△4,593	8,931
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△59,713	△13,714	77,272
現金及び現金同等物の期首残高	433,825	356,552	356,552
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	374,111	342,837	433,825

会社概要 / 株式情報 (平成22年9月30日現在)

会社概要

商号	日本精密株式会社
設立	昭和53年8月
本社	〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8川口センタービル8階 TEL: 048-225-5311 FAX: 048-226-5356
資本金	1,565,875千円
従業員	46名
事業内容	時計バンドの製造、販売 メガネフレームの製造、販売 イオンプレーティング（表面処理加工） 鈎具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売
主要な関係会社	NISSEY VIETNAM CO.,LTD. 株式会社村井 NS Murai Inc.

役員

代表取締役社長	岡 林 博
取締役	井 藤 秀 雄
常務執行役員	
取締役	白 坂 敬 次
上席執行役員	
取締役	金 民 秀
取締役	権 經 訓
取締役	金 幸 民
取締役	崔 夏 榮
社外取締役	安 本 昇 市
常勤監査役	中 嶋 春 樹
社外監査役	佐 藤 和 彦
社外監査役	河 津 博 史
上席執行役員	朴 成 鎮
上席執行役員	新 井 富 之
上席執行役員	上 林 一 男
執行役員	田 崎 政 己
執行役員	古 屋 野 裕
執行役員	山 田 幸 三
執行役員	守 屋 豊

株式の状況

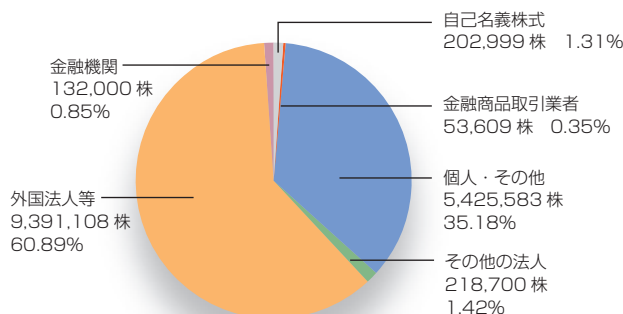
発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式総数	15,221,000株（自己株式202,999株を除く）
株主数	969名

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社ジェンコ	3,000	19.71
ビーアンドエフホールディングス株式会社 (ドウエルインベストメント株式会社から商号変更)	2,500	16.42
アジア文化技術投資株式会社	1,428	9.39
シービーエイチケイコリアセキュリティーズデポジトリ	1,386	9.11
SKS TRADING USA, INC.	1,000	6.57
篠 邊 貞 道	254	1.67
日本精密社員持株会	241	1.58
金 昌 明	229	1.50
費 國 寶	140	0.92
植 竹 哲 也	125	0.82

(注)当社は、自己株式202千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所 (JASDAQスタンダード)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載 URL http://www.nihon-s.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他の やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告 いたします。)

(ご案内)

- 株式に関する住所変更等のお問合せおよびお届け出について
株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座について
特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金について
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。